

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団デジタル化事業

自治体名

鳥取県三朝町

消防団名

三朝町消防団

1 事業の目的

消防団災害出動支援クラウドサービス及び災害対策用大型モニタを整備することにより、消防団の災害対応力の向上及び消防団運営全般における事務負担の軽減を図ることを目的とする。

2 事業内容

【消防団災害出動支援クラウドサービスの導入】

消防団災害出動支援クラウドサービス「コミュたす」を導入した。

令和6年12月に利用開始し、令和7年2月に全機能が利用可能となったことに伴い本格運用を開始した。

【研修会の実施】

消防団員及び町職員を対象とした研修会をそれぞれ実施し、登録方法の説明や機能等を研修することで、クラウドサービスを活用した災害対応の推進を図った。

また、スマホに不慣れ等の団員に対しては、個別の登録作業支援や動画による操作説明により、消防団全体のDX化を推進することに努めた。

【大型モニタの整備】

被災現場と災害対策本部の情報共有の効率化を図るため大型モニタを整備した。



コミュたすによる出動指令



大型モニタを活用した災害対応訓練



消防団員を対象とした研修会の様子

3 事業成果

【消防団災害出動支援クラウドサービスの導入に係る成果】

- ・発災時に団員の参集状況が早期に把握でき、効率的な指揮命令が可能となった。
- ・消防水利図がデジタル化され、迅速な水利確保が可能となった。
※町内消防水利…防火水槽 75基、消火栓 634基、自然水利 134箇所
- ・出動記録を町会計システムに取り込むことにより、団員報酬等の支給事務が簡素化され、消防団事務に係る負担削減及び確実性の向上が図られた。
- ・配布資料等はデータ配信に変更し、事務の削減及びペーパーレスが図られた。

【研修会の実施に係る成果】

- ・消防団員向けに2回、町職員向けに1回、いずれも対面形式で実施した。
- ・スマホが苦手な団員には、登録を補助することで前向きに登録していただいた。
- ・令和7年2月末時点で、登録者数は212人（団員数比77%）であり、欠席者への説明会動画の配信や登録支援を行い、団員を取り残さないDX化の推進に努める。

【大型モニタの導入に係る成果】

「コミュたす」の被災状況報告機能と連携して活用することで、WEBマップに写真や動画を投稿する方式で、リアルタイムに分かりやすい情報共有が可能となった。

これらの取組を継続して行うことで、災害対応力の向上及び消防団事務の削減等により推進していき、消防団の活動活性化及び効率化に繋げていく。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
登録者数	人数	330人	212人	
研修の実施	回数	1回	3回	
スマート会議の実施	回数	3回	3回	

5 その他参考情報

令和7年2月4日 日本海新聞掲載「消防団活動のDX化推進」